

東北地方 1か月予報

(12月24日から1月23日までの天候見通し)

平成23年12月23日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

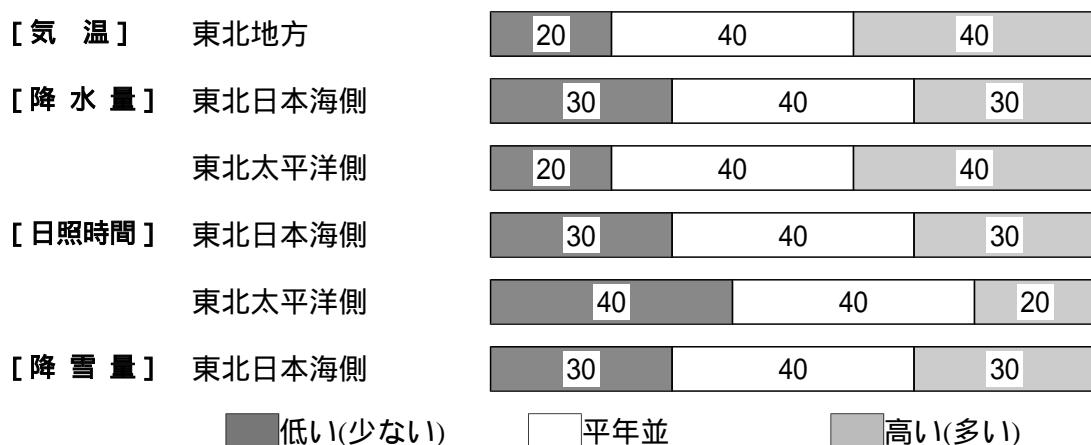
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

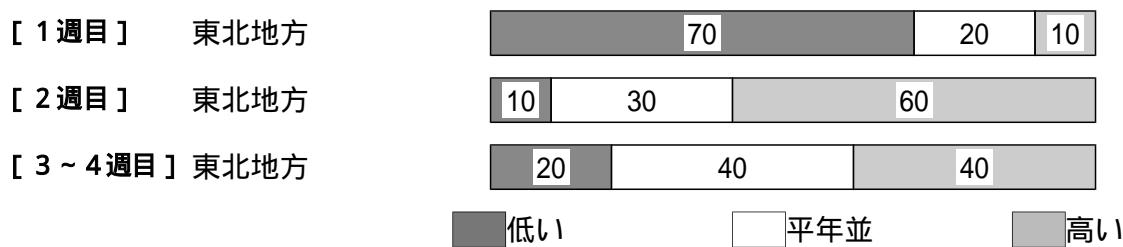
向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率70%です。2週目は、高い確率60%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 12月24日(土) ~ 1月23日(月)
1週目 : 12月24日(土) ~ 12月30日(金)
2週目 : 12月31日(土) ~ 1月6日(金)
3~4週目 : 1月7日(土) ~ 1月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は12月30日

3か月予報：1月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-0.7	148.6	48.8	207	0.3	-0.4	-1.1
深浦	0.3	109.8	27.6	97	1.4	0.7	-0.2
むつ	-0.8	105.8	69.7	149	0.2	-0.4	-1.3
八戸	-0.4	46.1	127.8	71	0.6	-0.1	-0.9
秋田	0.7	128.3	39.7	118	1.7	1.0	0.2
盛岡	-1.3	58.0	112.4	83	-0.2	-1.0	-1.9
大船渡	1.3	52.6	139.4	28	2.4	1.7	0.9
宮古	0.9	64.1	155.3	31	1.9	1.2	0.4
仙台	2.2	36.9	144.8	25	3.3	2.4	1.7
石巻	1.2	34.5	160.6	1	2.3	1.5	0.8
山形	0.2	86.9	83.4	137	1.3	0.5	-0.3
新庄	-0.6	214.9	37.8	257	0.5	-0.3	-1.1
酒田	2.3	177.6	39.2	107	3.4	2.6	1.7
福島	2.1	49.4	128.2	58	3.1	2.4	1.6
若松	-0.1	97.5	75.2	150	0.9	0.1	-0.5
白河	0.8	37.8	149.4	52	1.7	1.1	0.4
小名浜	4.3	48.6	188.0	-	5.2	4.6	3.9

小名浜の降雪量の平年値はありません。なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.2～+0.6	78～104	94～107	80～103
東北日本海側	-0.2～+0.5	89～105	93～109	86～111
東北太平洋側	-0.2～+0.6	65～108	97～104	70～102

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.5～+1.0	-0.5～+0.8	-0.5～+0.6
東北日本海側	-0.6～+1.0	-0.6～+0.8	-0.5～+0.6
東北太平洋側	-0.5～+1.0	-0.5～+0.9	-0.5～+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成23年12月23日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(12月24日～1月23日)：

期間のはじめは冬型の気圧配置が強く、その後は気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

期間の前半は、気温の変動が大きいでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目(12月24日～12月30日)：

気圧の谷や寒気の影響で、曇りや雪の日が多いですが、東北太平洋側では晴れるところがあるでしょう。なお、期間の前半は強い冬型の気圧配置となり、東北日本海側を中心に大荒れとなるおそれがあります。

気温は、低い確率70%です。

2週目(12月31日～1月6日)：

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、高い確率60%です。

3～4週目(1月7日～1月20日)：

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

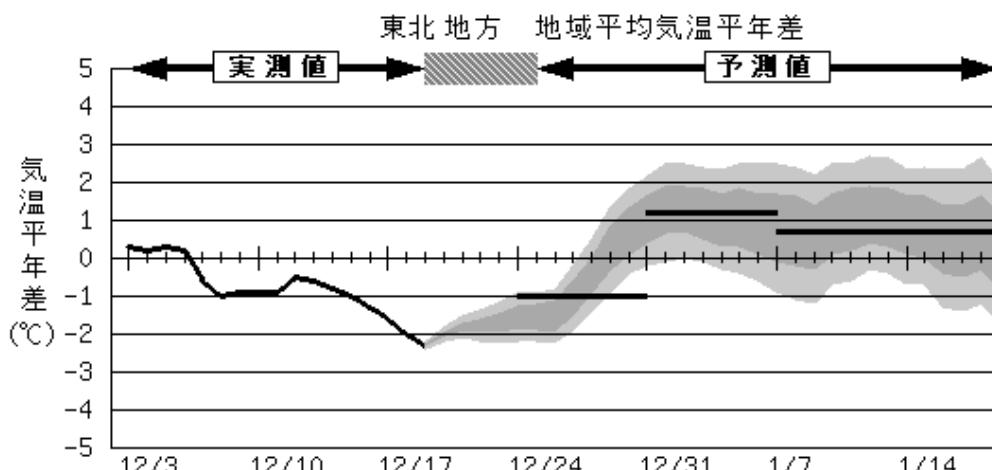
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
4.0	19.5	2.7	19.2	13.5	9.1	17.2	4.8	8.7	13.4	15.0	7.4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を下回り、2週目、3～4週目は平年を上回る予想となっている。



- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ハッシュの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均:

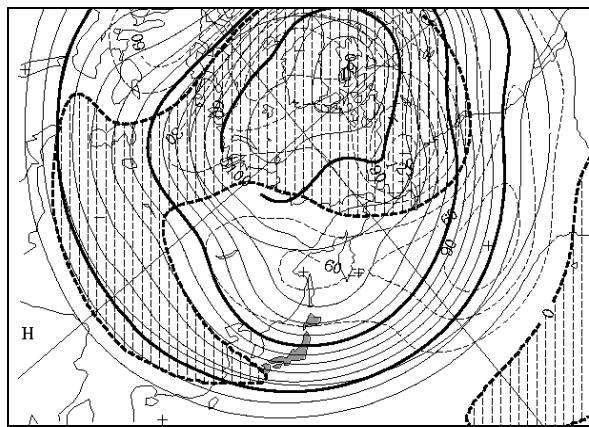
日本付近はオホーツク海を中心とする正偏差におおわれる。東北地方は平年に比べ寒気の影響を受けにくく、高温傾向が予想される。

1週目:

オホーツク海からバイカル湖付近を中心に正偏差、日本の東を中心に負偏差で、東北地方は負偏差におおわれて東谷傾向。東北地方は寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。

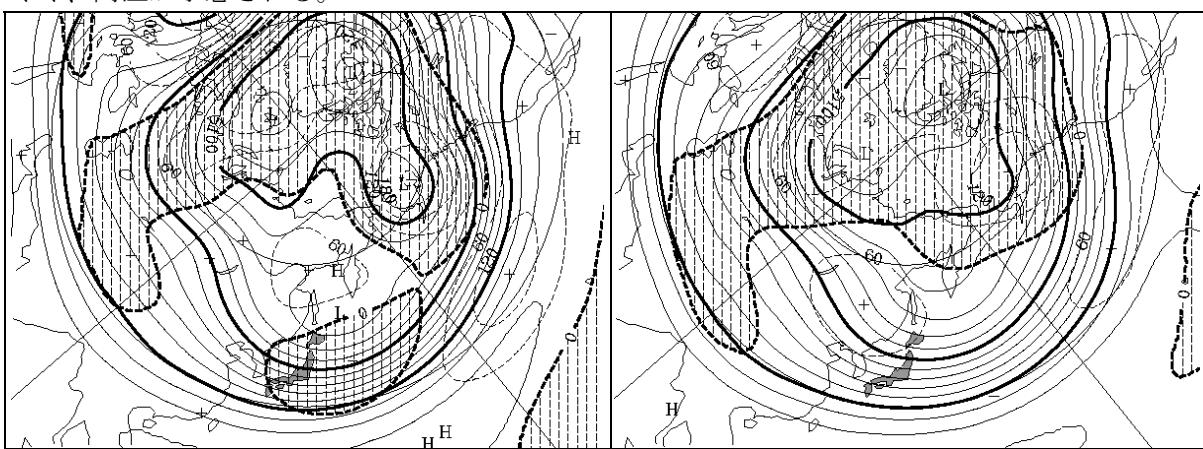
2週目:

日本付近は中国東北区を中心とする正偏差に広くおおわれる。東北地方は寒気の影響を受けにくく、高温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

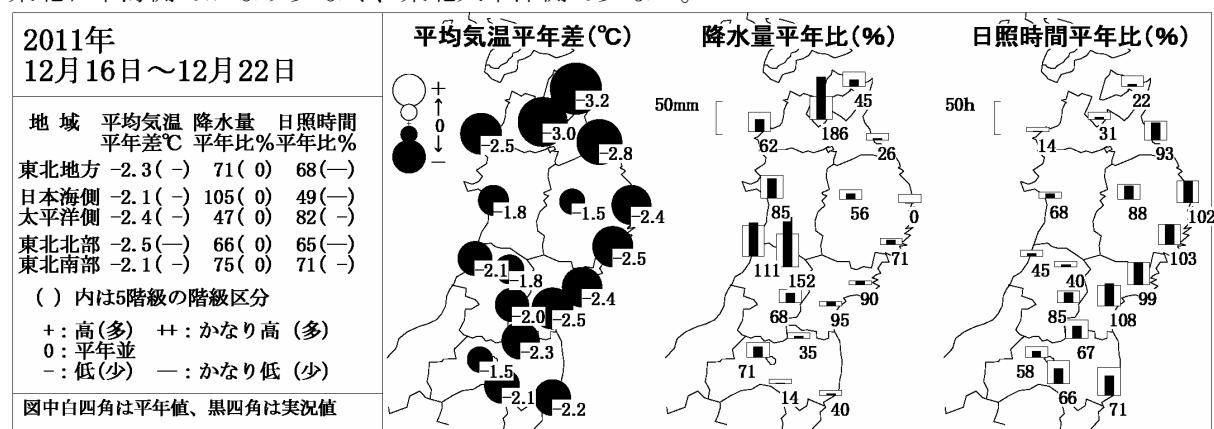
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（12月16日～12月22日）の天候の経過

期間の中頃までは、冬型の気圧配置が続き、強い寒気が南下したため、東北日本海側を中心に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側の沿岸部では晴れの日が多くなった。期間の終わりには、低気圧が日本海を北東進した影響で、曇りや雨または雪のところが多くなった。寒気の影響を受け、気温は低くなった。16日から17日にかけてと19日は、強い寒気が南下したため、東北日本海側で大雪となったところがあった。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

お知らせ

平成 24 年の季節予報及び異常天候早期警戒情報の発表日について

平成 24 年の季節予報発表日は次のとおりです。

	1か月予報	3か月予報	暖候期予報	寒候期予報
1月	毎週金曜日	25日		
2月		23日	23日	
3月		22日		
4月		25日		
5月		24日		
6月		25日		
7月		25日		
8月		23日		
9月		25日		25日
10月		25日		
11月		22日		
12月		25日		

異常天候早期警戒情報は、原則として毎週の火曜日と金曜日に、5日先から8日先を最初の日とする7日間平均気温のかなり高いまたはかなり低い確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。なお、平成24年においては1月3日（火）と3月20日（火）が休日のため、それぞれ翌日の1月4日（水）と3月21日（水）が発表日となります。

この件に関するお問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係
Tel : 022-297-8110